

下野市立国分寺西小学校

1 学校課題

**自分の思いを豊かに表現し 互いに学び合える児童の育成
～聴き合い、伝え合う活動の工夫を通して～**

(1) 研究主題のとらえ方

本校の学校教育目標や児童の実態から、本年度の学校課題を「自分の思いを豊かに表現し、互いに学び合える児童の育成」と設定した。本研究を進める上で指導法研究の主を国語科に置き、児童が自分の考えや思いを、自分の言葉で豊かに表現できる力の育成を目指している。さらに、話し合いの仕方を着実に身に付けて、互いに意見を聴き合い理解し合うことで、確かな学びへとつながる授業の実現をねらいとしている。

児童が自分の思いを的確に表現するためには、豊富な語彙と多様な表現方法が必要となる。そこで、まずは児童の内なる感性を引き出し、その思いや感動を自分の言葉で表現できるように、学習活動の展開を工夫する。それと同時に、国語科の授業の中で培った基本的な表現方法や読解力を、他教科でも意図的に関連させて扱うことで、児童自身による新たな発見やさらなる探求心を高めたい。そうした児童の望ましい姿に少しずつ近づけるには、児童同士の双方向性のある話し合い活動が有効であろう。日々の教育活動全般を通して、芽生え、培った豊かな感性に裏付けされた児童の表現活動から生まれる学び合いのある授業を目指したい。

本校は今年度、「とちぎっ子学力向上プロジェクト」の学力向上推進校としても指定を受け、研究に取り組んでいる。こちらでも国語科を研究教科としている。また、本校は数年来道徳教育の研究にも継続的に取り組み、心豊かな人間性を備えた児童の育成に力を入れてきた。これらの研究と今年度の学校課題とを有機的に関連付けていきたい。

(2) 研究の具体的内容

- ① 1 単位時間における表現活動の設定
 - ・ 聴く力の育成について
 - ・ 話す力の育成について
- ② 1 単位時間における伝え合うための指導の工夫
 - ・ 話し合い活動の基本姿勢について
 - ・ 言語力育成について

2 研究経過

(1) 授業研究の概略

	教科等	研 修 内 容	
①	国語	7月9日(水) 下野市S&Uコラボ事業研究会	
		講 師	宇都宮大学教育学部 准教授 森田香緒里先生
		講 話	「聴き合い、伝え合う活動について」 ～宇都宮市会話科の取組を中心に～
②	国語 5年	10月16日(木) 学力向上推進事業	
		指導者	栃木県教育委員会 学力向上アドバイザー 綱川 淨恵先生
		授業研究会	単元名 作品を自分なりにとらえ、朗読しよう「大造じいさんとガン」
③	道徳 3年	10月24日(木) 道徳教育研究会	
		指導者	小山市立大谷東小学校 校長 中山和彦先生
		授業研究会	きまりって、大切なの 4-(1) 公德心・規則の尊重 資料名「ハッピーマナー」 (出典：編集委員会 学研「みんなのどうとく 3ねん」)
④	国語 1年	11月17日(月) 下野市S&Uコラボ事業研究会	
		指導者	宇都宮大学教育学部 准教授 飯田 和明先生 下野市教育委員会 指導主事 高山靖子先生
		授業研究会	単元名 よく見てかこう 「知らせたいな、見せたいな」
⑤	国語 6年	12月1日(月) 学力向上推進事業	
		指導者	栃木県教育委員会 学力向上アドバイザー 綱川 淨恵先生 下野市教育委員会 指導主事 高山靖子先生
		授業研究会	単元名 ものの見方を広げよう 「『鳥獣戯画』を読む」

(2) 研究の実際

①第1回研究会 (下野市S&Uコラボ事業研修会)



国語 講話「聴き合い、伝え合う活動について」
～宇都宮市会話科の取組を中心に～

<内容>①聴き合うための段階

i 聴けるようにする段階

ii 聴き合う段階

②話さない子の心理について

③話せない子のために学校としてできること

講師の森田先生が宇都宮市内の小学校で指導されている「会話科」での取組の内容をもとに、教師の指導の在り方について

研修した。「会話科」開発の要としては情報の視覚化、視点の共有化、物事の比較化があげられる。また、聴き合ったことや話し合ったことが「よかった」と思える実感や達成感を伴った授業展開、相手意識を言語活動の基盤として取組など具体的な内容だった。森田先生が指導されている実践校も小規模校なので、本校の実践に応用できる。特に「話さない子の心理」や「開発のポイント」は、授業や活動等で活用している。

②第2回研究会

国語 単元名 作品を自分なりにとらえ、朗読しよう

<本時の目標> 「大造じいさんとガン」

大造じいさんの残雪に対する心の変化を読み取ることができる。



「校庭の木」の取材メモをもとに
伝えたい順番に並び変える

③第3回研究会 道徳

資料名「ハッピーマナー」

<ねらい>

身の回りの出来事を通して、約束や社会のきまりの大切さに気付き、進んできまりを守り気持ちよく生活しようとする心情を育てる。

ロールプレイを取り入れて
道徳的価値に迫る



友達の考えを聴き合い
筆者の考えに対する見方を広げる

④第4回研究会

国語 単元名 よく見てかこう「知らせたいな、見せたいな」

<本時の目標> 自分の考えた順序で文をならべ替えることができる。

⑤第5回研究会

国語 単元名 ものの見方を広げよう 「『鳥獣戯画』を読む」

<本時の目標> 学習を通して、新しく知ったことや、自分のものの見方が広がったと思うことについて、互いの意見を話し合う活動を通して、自分の読みを深めることができる。



3 研究の成果と課題

【成果】

- ・ 友達同士の話し合い活動では、「ペア」や「グループ」「一斉」といった様々な形態を取り入れ、学習内容に応じて変化させたことによって、自分の考えを深めることにつながった。
- ・ 朝の全校放送による放送体験や朝の会での新聞のコラム活用短文発表では、各自が発表することで、表現を工夫してよいところを取り入れようと、友達の発表を聴く習慣ができてきた。

【課題】

- ・ さらに表現を豊かにするための語彙の習得を目指したい。
- ・ 話し合うときの手立てとして、学年の発達段階に応じたスキルを明示できるようにしたい。
- ・ 児童個々の意見を全体で練り上げていく際の指導法を研究したい。